

原子力発電所の運転および建設状況

原子力安全対策課 平成11年12月3日現在

設備容量	運転中	14基	計1145万kW
	建設中	1基	計 28万kW

項 目 発電所名		現 状	稼働率（進捗率）%		概 要
			平成11年度	運開後累計	
日本原子力発電(株)	1号機	定期検査中	57.8 55.7	69.8 66.6	第26回定期検査(H11.8.20～H12.5月中旬予定) H11.8.20 0° 発電停止。9.15 シュワット 取替工事開始。
	2号機	定期検査中	41.9 41.9	81.7 81.1	第10回定期検査(H11.11.27～H12.2月下旬予定) H11.7.12 6°48' 再生熱交換器連絡配管からの一次冷却水漏えいにより原子炉手動停止。原因は、熱交換器連絡配管および胴部での高サイクル熱疲労割れ。対策として、今定期検査で再生熱交換器を、内筒を有しない構造のものに取替える。
核燃料サイクル開発機構 新型転換炉ふげん発電所		運 転 中	34.7 33.1	66.0 64.4	H11.10.28 圧力管1体のシールラグで、シール機能が低下したため、20°25' 発電停止。調査の結果、圧力管内のシール面に微小な傷を確認。当該シール面を研磨した後、漏えいのないことを確認。なお、停止中の11.18、急速注水系定期試験時にB-蓄圧器出口弁が正常動作せず。原因は、当該弁の駆動用電磁弁の不具合によるものと判明。当該電磁弁の補修を実施後、復旧した。11.30 18° 原子炉起動。12.1 0°19' 臨界。17° 発電再開。
核燃料サイクル開発機構 高速増殖原型炉もんじゅ		性能試験中 (事故停止中)	—	—	H7.12.8 中間熱交換器(C)2次系出口配管からのナトリウム漏えいに伴い、21°20' 原子炉手動停止。
関西電力(株)	1号機	定期検査中	100 98.0	49.4 46.3	第17回定期検査(H11.12.1～H12.3月下旬予定) H11.12.1 1° 発電停止。
	2号機	定期検査中 (調整運転中)	51.0 49.7	58.9 57.0	第18回定期検査(H11.9.3～12月中旬予定) H11.9.3 1° 発電停止。11.16 17°46' 原子炉起動。11.17 0°30' 臨界。11.18 16°52' 調整運転開始。
美浜発電所	3号機	運 転 中	77.5 76.8	74.5 72.9	
	4号機	運 転 中	72.6 72.0	62.0 60.8	H11.11.26 17°～11.28 6°15' B-内部スプレッドのメカニカルシール取替のため、当該スプレッドを待機除外。(添付資料)
関西電力(株)	2号機	運 転 中	55.9 55.4	70.0 68.7	
	3号機	運 転 中	85.6 84.4	88.2 87.7	
大飯発電所	4号機	運 転 中	85.6 84.4	83.2 82.6	
	5号機	運 転 中	98.7 98.4	64.0 62.3	
関西電力(株)	2号機	定期検査中 (調整運転中)	82.7 80.9	64.9 62.8	第18回定期検査(H11.10.7～12月中旬予定) H11.10.7 1° 発電停止。11.16 9°03' 原子炉起動。15°55' 臨界。11.18 4°54' 調整運転開始。
	3号機	運 転 中	98.7 98.4	84.9 84.3	
高浜発電所	4号機	運 転 中	63.0 62.1	84.2 83.7	
合 計			71.8 72.7	68.1 69.1	(注) 稼働率（進捗率）は、平成11年11月末現在。 累計は、営業運転開始以降。

上段が、時間稼働率 = $\frac{\text{発電時間}}{\text{暦時間}} \times 100 (\%)$

下段が、設備利用率 = $\frac{\text{発電電力量}}{\text{認可出力} \times \text{暦時間}} \times 100 (\%)$

平成11年度安全協定に基づく軽微な異常事象報告
(平成11年11月分)

大飯発電所 1 号機 Bー内部スプレポンプの待機除外について

- ・発生日時：平成11年11月26日 17時00分（待機除外）
- ・終結日時：平成11年11月28日 06時15分（待機状態復旧）
- ・放射能による周辺環境への影響：なし
- ・国の取扱い：法律・通達に基づく報告対象外

・事象概要：

大飯発電所 1 号機は、定格出力運転中のところ、平成11年11月25日、計画的な予防保全工事としてAー内部スプレポンプのメカニカルシールの取替工事を行っていた。

この工事に伴い、保安規定に基づき、もう一方のBー内部スプレポンプの起動試験を8時間毎に実施したところ、同日、14時50分、運転員がBー内部スプレポンプのメカニカルシール部から若干（数滴／秒）の漏れを確認した。

同ポンプの運転性能等（出口圧力、吐出流量等）には異常はないが、Aー内部スプレポンプメカニカルシールの取替が完了後、Bー内部スプレポンプを11月26日17時から28日6時15分まで待機除外とし、メカニカルシールの取替を実施した。

原因調査として、現地にて当該メカニカルシール部を取外し、漏えい試験を実施した結果、メカニカルシールのベローズ（金属の伸縮継手）部からの漏れが確認されたため、今後、工場にて詳細調査を実施する。

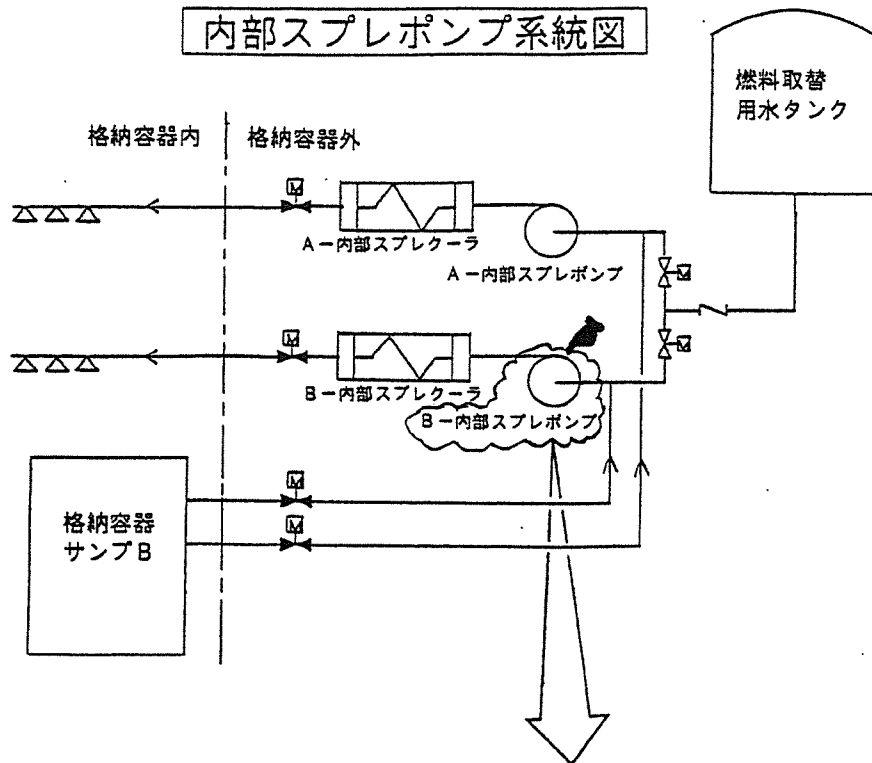
なお、この事象は、発電所の運転に支障はなく、環境への影響もない。

[待機除外]

通常、いつでも起動できる状態（待機状態）にある機器を点検等のため自動起動できない状態にすることを待機除外という。

内部スプレポンプは、2台あり、うち1台を待機除外とした場合は、保安規定に基づき、プラント運転中は、残りの待機状態にあるポンプ1台が健全であることを8時間毎に起動試験を行い確認することとしている。

内部スプレポンプ系統図



B-内部スプレポンプ外観図

